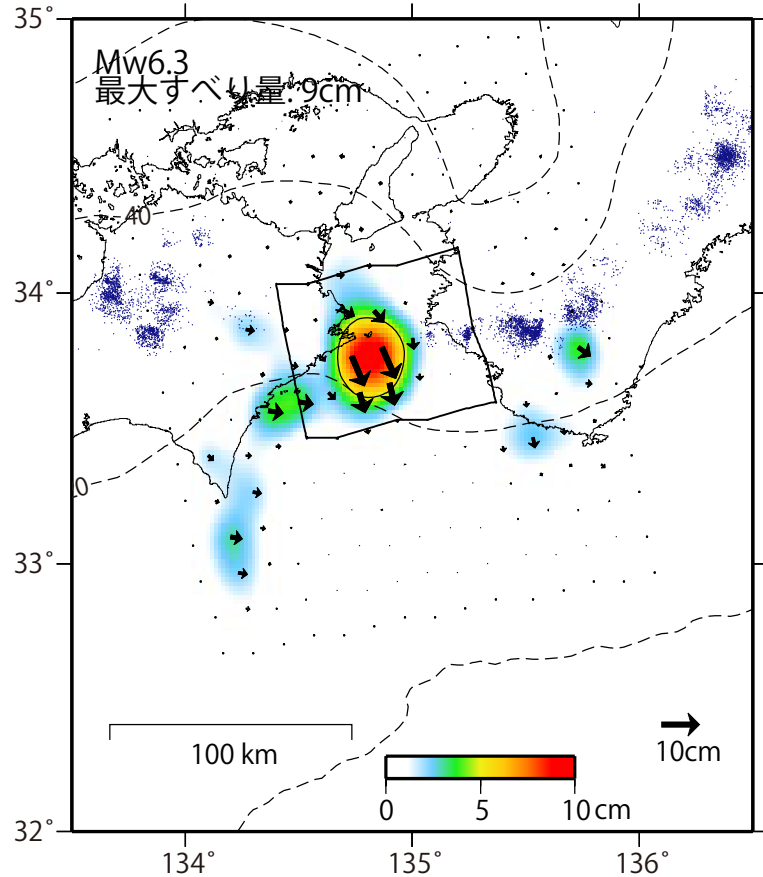


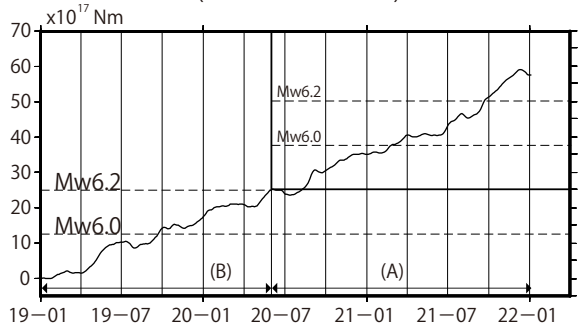
GNSSデータから推定された紀伊水道の長期的ゆっくりすべり (暫定)

推定すべり分布
(2020/6/1-2022/1/5)



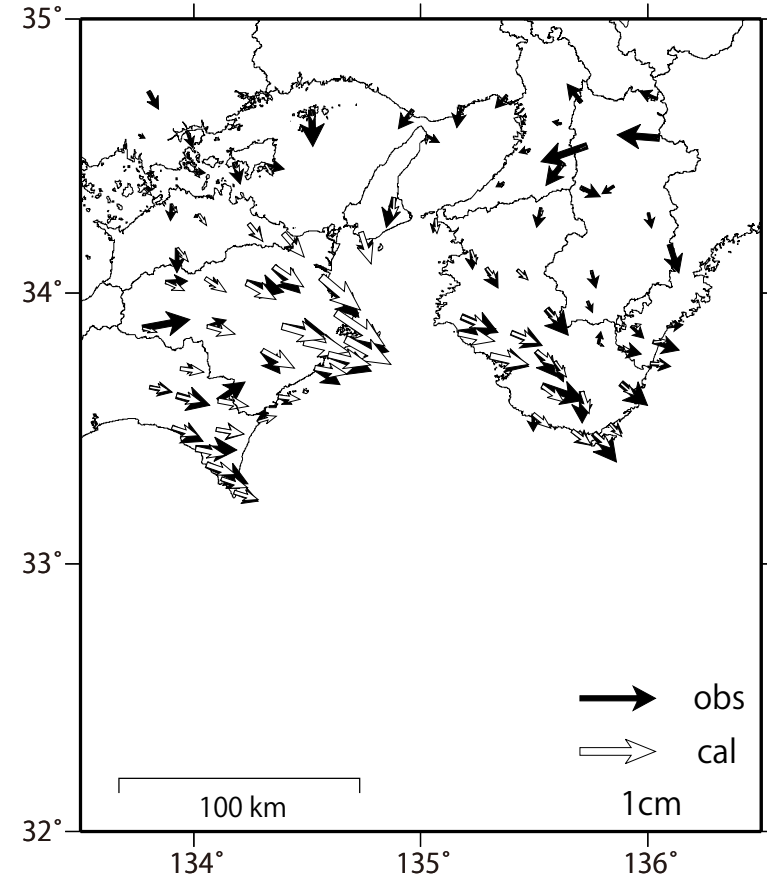
Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

モーメント時系列(試算)
(2019/1/1-2022/1/5)



(A) 今回の長期的SSE
(B) 前回の長期的SSE

観測値(黒)と計算値(白)の比較
(2020/6/1-2022/1/5)



使用データ:GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)
F5解(2018/1/1-2021/12/18)+R5解(2021/12/19-2022/1/5)

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間:2017/1/1-2018/1/1

(年周・半年周成分は 2017/1/1-2022/1/5 のデータで補正)

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側

観測値:3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

すべり方向:東向きから南向きの範囲に拘束

青丸:低周波地震(気象庁一元化震源) (期間:2020/6/1-2022/1/5)

固定局:網野